

# 市民談話室

## 原稿募集

1月5日号の原稿を募集します。皆さんが日ごろ考えていることや身近な出来事など、気軽に投稿してください。字数は400字から500字程度とします。あて先は、〒950-12白根市大字白根1235 白根市役所 企画調整課 広報広聴係 (☎373-2111) (F)333) です。



昭和五十六年七月十二日、働きの主人が脳梗塞で倒れ、入院。意識不明。医師から死の宣告を受けたときの驚き…。奇跡的にも三日後に意識が戻り、療養の結果退院することができました。話すことができず、うなずくことと、首を左右に振る毎日でした。

リハビリは早朝の散歩から始めました。夜明けを待って二人で自転車に乗り、和泉、浦梨、



樋口昌代さん (旭町・無職・七十五歳)

## 早朝の散歩 雷雨に手を取り合って…

田中と走ります。途中、樋口流の体操をし、だれもいないときは二人で大きな声を張り上げ、歌いながら戻ると一時間。これを七年間続けています。

九月八日早朝、降りそうだと案じつつ出かけました。和泉を走るころ、とうとう降り出した雨。そのうちにピカピカゴロゴロと激しい雷雨。全部ピシピシに濡れ、光と音が恐ろしく、浦梨神社に雨宿りをしました。激しい雷に「感電して死ぬときはいっしょに死のう。葬式一つ出すも二つ出すもいっしょだから」と思わず主人の右手、私の左手を握り合いました。主人も同感なのかその手を振り払いません、音が大きくなると二人の手に力も入り、しっかり握り合っていました。



馬場正己さん (七軒町・板金業・四十八歳)

## 早くスキーがしたい 待ち遠しい雪の季節

外仕事の多い私は、やがて訪れる冬を、以前はみぞれや雪、吹雪の数ヶ月と、暗いイメージばかり持っていました。そんな折、東京の友人が「新潟の人は幸福だねえ。雪がたくさん降ってスキーができてうらやましいなあ」と言った一言に、はっと目の前が明るくなったのです。数十年前のことで、スキーの字も知らぬ私は不安もありましたが、思い切ってスキーツアーの募集に参加、挑戦してみました。初めてのスキーは滑るよりも転ぶほうが多く、でも寒さも感じられず楽しかった思いり合っていました。結婚して五十五年、八十歳と七十五歳の老男老女が手を握り合ったのはそのときが初めてでした。茶飲み友達にその話をする大声で笑いますが、神社の前を通るとそのときの恐ろしさを思い出します。すっかり健康を取り戻した主人も、体のためといって長い廊下をふいたり、友達と語り合う毎日を送っています。めんどろなことなどは近くに住む息子夫婦がやってくれるので感謝し、かわいがられる老夫婦になろうね、と語り合っています。



# 広報クイズ⑨

毎月たくさん応募してくれてありがとうございます。クイズで楽しみながら、家族そろって広報しろねに目を通し、市政についてご理解いただければ幸いです。

県立自然科学館のご厚意により、招待券もプレゼント。自然科学館の詳しい催しの案内は十六ページの情報センターをご覧ください。

先月号のクイズの正解は①ー(樹齢三百五十年のサルスベリです) ②ー(サラリーマンの奥さんは第三号被保険者。ここで間違えた人がたくさんいました。もう一度国民年金の記事を読みましょう) ③ー(金庫室に預けられていたのは毛皮

のコート) でした。応募総数は四十五通、そのうち正解は三十七通でした。

## 【今月の問題】

① 昨年四月に行った広報アンケート。女性の人気第一位は「まちの話題」でした。では、男性から最もよく読まれているのはなんのコーナーでしょう。

- ① 市政短信
- ② 議会の動き
- ③ まちの話題
- ④ (ヒント) 四ページ

② 茨曾根公民館が行った「子どもとお年寄りの集い」。わらわりの後聞いた茨曾根に伝わる民話は?

- ① ねこ丸
- ② しし丸
- ③ わらしべ長者
- ④ (ヒント) 七ページ

③ 平成元年度の除雪計画。市が

除雪する市道の延長は?

- ① 二百八十二・六キロ
- ② 二百六十二・三キロ
- ③ 二十六・五キロ
- ④ (ヒント) 十三ページ

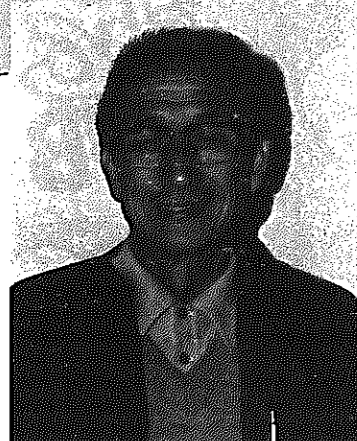
## 【応募の方法】

はがきに答えの記号(例①ー)住所、氏名、年齢、広報しろねへのご意見、ご希望などを書いて送ってください。全問正解者の中から抽選で五人に五百円の図書券を、三人に県立自然科学館の招待券をペアで差し上げます

○あて先 〒950-112 白根市大字白根1235 白根市役所 広報クイズ係  
○締め切り 十二月二十日(水) 必着のこと  
○抽選 十二月二十一日(木)に市役所に来られた人に抽選していただきます。  
○発表 一月五日号

## 広報クイズ ⑧

### 当選おめでとう!



11月21日に市役所に来られた小林栄一さんから抽選していただきました。

### 【500円の図書券】

- ▶長谷部優子さん (南新町・9歳)
- ▶渡辺 一香さん (七軒町・37歳)
- ▶長谷部 愛さん (南新町・1歳)
- ▶丸山 秀子さん (下木山・26歳)
- ▶関根 剛彦さん (大字茨曾根・29歳)

### 【県立自然科学館招待券】

- ▶斎藤 洋三さん (大字七軒・45歳)
- ▶阿部麻衣子さん (西笠巻新田・3歳)
- ▶宮路 隆行さん (南新町・7歳)

## 市民文芸

### 俳句

まつすぐにさがりぶらぶら鳥瓜 安沢 飛浪  
重からず長からず豆叩き棒 成沢 素明  
ふと触れし草の実爆ぜる日和かな 金田 イト  
骨肉を食む鈴虫の性を見し 猪股 南魚  
四五本の芒を下げし人に逢ふ 堀内ナナ子  
新涼の女静かに来て座る 公条 雪夫  
落ち葉かく音のひびきて石の塚 古川 綾

### 短歌

荒川のガムの水面は静もりて にしき織なる山景を置く 中村 京

### 川柳

百万(円)の味方バートを嫁にする 中村 尚治  
秋風に何故か気になる住所録 西条 ムラ  
妬き餅の火種が消えた倦怠期 早川 英男  
侍せの背骨を曲げる鬼がいる 山岡 フミ  
大掃除妻のタクトが冴えている 吉川 彰  
ざりざりに落ちた手形の汗を拭く 米野 光雄  
もう大人です矢印はいりません 今井 七郎  
ズバリ言う個性父から譲り受け 織田 セツ  
それとなく嫉妬している襟の紅 大塚美代子  
末っ子が母を遺産として貰い 後藤マサノ  
紅葉の彩が眩しい左遷の地 佐藤トミノ  
同行の美人ばかりがもてた旅 佐藤 ヨキ  
佇ったまま眠るコケシへ雪となる 高橋祐四雄  
金を見せ焦らして値切る買い上手 竹石 甚五  
それぞれの個性が並ぶ書道展 田中 成子  
物好きの足を骨董屋に運ぶ 田村 恒夫